

相談専門部会 活動状況報告書

1 開催状況 ※前回全体会（令和5年9月）以降の開催状況

令和5年4月から6月にかけて、部会員・事務局担当にて、各相談支援事業所を個別訪問し、事業所の体制・事業内容・課題等の聞き取りを実施。

聞き取り内容をもとに、各相談支援事業所が支援を行うにあたり苦慮している点をクリアにするため、第1回相談専門部会（R6.2.9開催予定）にて、5支援センターによる研修を実施する。

2 協議事項（貴専門部会で重要度の高い議題を2点以内に絞り込んでください）

(1) 障がい者基幹相談支援センターと相談支援事業所の連携について

内容：

「必要とされる全ての方に計画相談導入」することを最終的な目標とし、各相談支援事業所の実態や対応状況について訪問により聞き取る。

特に新規介入時のアセスメント及びケース展開後のモニタリングについて、各事業所の対応状況を確認。

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 今後計画相談を必要とする人は増え続けるが、減ることはない事実を踏まえ、現状の実務整理をする時期に来ている。
- 要点を押さえたうえで記録に落とし込むことが必要。記録の記入方法等を学習し、本市全体のスキルアップを図っていく必要がある。

(2) 伴走型の支援の定着について

内容：

基幹相談支援センターと相談支援事業所が連携して対応した事例を積み上げ、当部会で情報共有していくことで、相談支援事業所と基幹相談支援センターのスキルアップを目指していく。

検討結果・課題等：箇条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 伴走型支援の定着を目指すために、事業所単独で対応完結するのではなく、基幹相談支援センターも含めた介入を意識し、事例を積み上げていく必要がある。
- また、誰もが意見を言い合える、相談ができる場として本部会を活用していくことを共有。

上記以外の協議事項（上記(1)(2)以外特筆することがあれば、タイトルだけ箇条書きしてください）

- ◇ SNS等の利用に関連した相談対応
- ◇ ケース記録作成の意義

3 その他（自由記載）

市内各相談支援事業所・相談支援専門員の質の向上を図る目的での研修会形式の活動と、地域の仕組み作りの動きを連動させた取り組みが必要となる。

